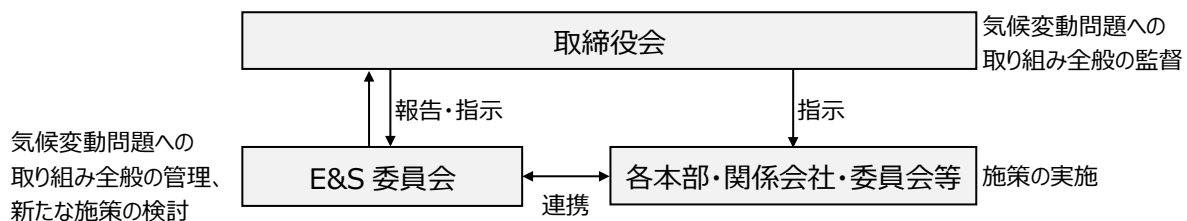


クリタグループの気候変動問題への取り組み

クリタグループは、気候変動問題を世界共通で取り組むべき喫緊の課題と捉えており、TCFD 提言に基づき、事業活動に伴って発生する温室効果ガス（GHG）の排出の継続的な削減と、事業を通したお客様における GHG 排出削減に取り組んでいきます。

1. ガバナンス

クリタグループは、当社の代表取締役専務を委員長とする E&S（Environmental & Social）委員会を設置し、クリタグループにおける気候変動問題への取り組みを統括しています。気候変動問題への取り組み全般の監督を担う取締役会は、E & S 委員会から原則として年 2 回の報告を受け、必要な施策を決定します。



2. 戦略

クリタグループは、IPCC SR1.5 および IPCC RCP8.5 が描く 2 種類のシナリオ（1.5℃および 4℃）^{※1}に基づき、「発生可能性」と「影響度」の 2 軸で短期・中期・長期^{※2}のリスクと機会および事業への影響を評価し、クリタグループの施策を策定しました。

※1 気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change）が予測する、工業化以前の水準からの気温上昇が 1.5℃となるシナリオおよび最も気温上昇が高いシナリオ。

※2 短期（1～3 年）、中期（3～5 年）、長期（5～20 年）と設定しました。

分類	リスク・機会の内容	時間軸			クリタグループの施策
		短期	中期	長期	
政策と法	<ul style="list-style-type: none"> 炭素税の導入や増加（リスク） GHG 排出量の多い製品やサービスへの規制（リスク） GHG 排出量の少ないエネルギーへの転換を支援する政策インセンティブの普及（機会） 	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や設計等の見直しによる製品やサービスの低炭素化 代替燃料や再生可能エネルギーへの転換による Scope1 および 2 の削減
テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> GHG 排出量の少ない製品やサービスへの転換が進む（リスク・機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電など、再生可能エネルギー関連事業の展開・拡大
市場	<ul style="list-style-type: none"> 化石燃料関連セクターからの需要減少（リスク） DX の加速による電子産業の需要増加（機会） 原料、エネルギーコストの高騰（リスク） 	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
物理的な影響	<ul style="list-style-type: none"> サイクロンや洪水などによる工場停止や工期遅延の増加（リスク） 冷却設備の稼働率増加（機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 水害対策など、自然災害に備えた事業継続体制の継続的強化
資源効率	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な生産や流通プロセスの普及（機会） 水使用量の削減（機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
エネルギー源	<ul style="list-style-type: none"> GHG 排出量の少ないエネルギーの普及（機会） 分散型エネルギー源への転換（機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や低動力技術の展開
製品とサービス	<ul style="list-style-type: none"> GHG 排出量の少ない製品およびサービスの需要増加（機会） GHG 排出削減に向けた多様な技術ニーズの増加（機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電など、再生可能エネルギー関連事業の展開・拡大
レジリエンス	<ul style="list-style-type: none"> 燃料、水資源等の代替や多様化（リスク・機会） 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

3. リスク管理

クリタグループでは、E&S 委員会委員長である経営管理本部長がリスクマネジメント担当役員としてグループのリスク管理を行っており^{※3}、「全社リスクマップ」に基づき継続的にリスクの監視を行うことで、リスクの発生防止に努めています。気候変動に関連したリスクの管理は E&S 委員会が担い、シナリオ分析に基づくリスクの選別・優先順位付け・管理・評価を適宜実施し、リスクに対応する施策を取締役会へ報告します。

※3 クリタグループのリスクマネジメント体制については以下のリンク先をご参照ください。
https://www.kurita.co.jp/csr/csr_activity_risk/index.html

4. 指標と目標

クリタグループは、CSR に関する取り組みを推進するため、重点的に取り組む 7 つのテーマをグループ共通の「CSR に関する方針」に定めています。気候変動問題への取り組みとなるテーマ 5 においては、パリ協定に沿った取り組みとするため、従来の目標に加え、SBTi^{※4} が示す手法に沿い、2019 年度を基準年として「Well-below 2°C 水準（2°Cを十分に下回る水準）」にて長期目標を新たに設定し、Scope1、2 および Scope3 の削減に取り組んでいます。

※4 企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を、工業化以前と比べ 2°Cを十分に下回るレベルに抑えるという目標に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進するイニシアチブ。

CSR に関する方針の重点的に取り組むテーマ	指標	長期目標	
		2030 年度	2050 年度
5. 持続可能なエネルギー利用を実現する	Scope 1 および 2 排出削減 (2019 年度からの削減割合)	27.5%	100%
	Scope 3 排出削減 (2019 年度からの削減割合)	27.5%	-